

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	【運営推進会議を活かした取り組み】 小規模の事業所の運営においては自己完結型ではなく、地域資源を活用しながら入居者の暮らしを支えていく必要がある。	運営推進会議を通して、地域資源を最大限に活かして、入居者へのサービス向上を図っていく。	①外出行事等に、地元のボランティア団体の協力を依頼し、協働の場を拓ける。 ②自治会や老人会から地域活動の情報収集を行い、入居者が参加できる機会作りを行う。 ③地域の方に、グループホームへ気軽に来て頂ける機会や体制作りを検討し実施する。	12カ月
2	13	【災害対策】 年2回は確実に防災訓練を実施出来ているが、地域住民との協力体制は十分ではない。また、災害発生時、職員が落ち着いて迅速に対応出来るよう、普段よりシミュレーションやミニ訓練を実施する必要がある。	①防災訓練を実施する際は、地域住民の方々に参加を呼びかけ、より実践に沿った訓練を実施することが出来る。	①運営推進会議に参加している行政機関、自治会長や地域住民代表と連携を図り、地域住民の方々と防災訓練が実施出来るよう協力体制を充実させる。	12カ月
			②あらゆる災害を想定したミニ訓練を普段より実施して、全職員が迅速に対応できるようになる。	①職員によるミニ訓練を定期的に(3カ月に1回)実施する。その都度、安全な避難方法や、避難時間の短縮が図れるよう、シミュレーションを行う。	

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

評価結果の通知を受けた日から概ね2週間から30日以内に作成し、市町と評価機関に提出してください。(提出必須)